（PPSQ学内201504）

岡山大学 自然生命科学研究支援センター 分析計測分野

**ペプチドシーケンサー測定依頼書（学内用）**

下記試料の分析を岡山大学自然生命科学研究支援センター分析計測分野へ依頼します。

 　　**申込日**\***年　　月　　日**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **依頼者**\* | 　 | **依頼者TEL**\* |  |
| **所属**\* |  | **依頼者E-mail**\* |  |
| **支払責任者**＊ | （印） 　（印） | **支払経費**\* | □運営費　・　□寄付金　・　□科研費（4-12月）　 |
| 試料番号 | **試料名（ファイル名）\***15文字以内 | 推定量(pmole) | 測定希望残基数\* | 推定配列1字表記（別紙添付可） | コメント |
| 1 |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |
| **試料状態\***（該当を■に）： □溶液試料　（蛋白質濃度と溶媒組成を連絡欄に記入すること。毎回必須） 　　　　　　　　　　　　　　 □PVDF膜へ溶液をブロットした。（ブロット後，Mili-Q水などで、きょう雑物質を良く洗浄した。） □SDS-PAGEからPVDF膜へ電気転写　　 □PVDF膜染色法： 　　　 (CBBよりもアミドブラックを推奨) |
| **重要確認事項\***：試料中のアミン（アンモニウム塩、トリス等）、塩類、SDSについて。 □含まれていない（完全に洗浄除去した）　□試料に 　　　　 　が含有。 |
| 測定結果の様式と引き渡し： □決定配列のみ □クロマトパターン添付 □支払い責任者宛に学内便で送付　□ファイルをメール送付　□来訪引き渡し解析の短縮と延長：（6残基以上測定希望の場合のみ） □ピークが低い時には、測定残基数を減らす事を希望する。 □まだ十分高いピークが出ている時は、測定残基数の増加を希望する。 |
| 連絡欄： |
| **確認事項**\*該当項目を■にして下さい。 | ・「分析計測分野利用要項」の内容は　　□確認済みである。・測定後の試料は，□来訪して引き取る　□学内便送付　□可燃物廃棄。・ニトロセルロース膜は反応中に溶けるので不可。必ずPVDF膜を使用して下さい。 |

太枠内を依頼者がご記入下さい。　\*印の項目は，必ずご記入下さい。

分析計測分野記入欄： 受付No.　＿＿＿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 測定者 |  | 測定日時 | 平成　　年　月　 　日, 日，　　日 |
| 測定残基数 | #１：　　残基、#２：　　残基、#３：　　残基　 | 測定結果　　：  |
| 結果等引渡日： |
| 利用料金請求額 | □ 1試料料金（学内）：　3,000円（基本料金）+　1,200円x残基数， |
| 追加消耗品等：　　　　　　　　　　円， | **合計請求額：　　　　　　　　　円** |
| 特記事項 |  |